

事務事業No.	11-	7
事業名	林業経費	
会計	一般	
款	6	
項	1	
目	5	
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名 産業課
施策	9-1 良好な居住環境の形成	係名 産業振興係

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	暮らしに身近な森林を整備することにより、生活環境の保全や向上を図ります。
事業内容	危険木伐倒等業務 みえ森と緑の県民税交付金を活用し、これまで整備が進みにくく、荒廃が進んでいる緑地帯や森林地帯を対象とした整備を集中的に実施します。 また、人家裏や通学路沿いで倒木の恐れのある危険木の除去等も行います。 林業業務 森林にかかる許認可事務をはじめ、法定により整備することとなった林地台帳の整備と運用を行います。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	1	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
			令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					7,658		8,397	9,037	
財源内訳	直接事業費 A				4,358		5,097	5,977	
	うち一般財源				3,049		623	509	
人件費(千円) B					3,300		3,300	3,060	
内訳	一般職員(人・千円)		0.50		3,300	0.50	3,300	0.45	2,970
	臨時職員(人・千円)				0	0	0	0.05	90

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	・笹尾、城山地区外周の危険木伐倒について、一定の成果が出たことから、今後は他地区についても整備を図っていく。 また、交付金の活用について他課に働きかけていく。	③取組の課題	みえ森と緑の県民税市町交付金を財源としていることから、事業の内容に制約がある。
②R4年度に実施した取組み	・みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、三和地区の危険木伐倒等業務を実施した。 ・交付金を活用し共同福祉施設の備品を購入した。 ・交付金の活用について他課に働きかけ、子ども家庭課、教育総務課、学校教育課より協力を得た。 (お食い初め箸・本棚の購入、森林教育出前事業の実施)	④今後の改善計画	・今後は三和地区を中心とした在来地区の危険木伐倒について整備を継続していく。 ・交付金の活用について他課への働きかけを継続していく。